

1 日時： 令和5年2月8日（水） 15時00分～16時25分

2 場所： 大阪府立清水谷高等学校 校長室

3 運営協議会委員：

（敬称略）

日本教育会 大阪府支部 支部長	田中 保和	出席
大阪市立高津中学校 校長	竹内 直樹	欠席
須藤大場法律事務所 弁護士	須藤 隆二	出席
元PTA 会長	藤本 都也子	出席
令和4年度 清援会 会長（前PTA会長）	嘉田 恭永	出席
令和4年度 PTA 会長	近藤 清子	出席

校内 校長、教頭（事務局長）、事務長、首席2名、指導教諭 ※記録：首席

4 次第

I 会長挨拶

校長挨拶

- ◆ 高文連音楽祭に参加し、本校がクラ・アカガル部と合唱部が大阪府の高校内で格段に秀逸であることを再確認。
- ◆ 卒業式当日に府立高校を代表して取材（テレビ・新聞）を受ける予定。

II 議事

(1) 学校の状況報告（校長より）

- ◆ リーディングGIGAハイスクールに応募し採用（60校応募・30校採用）されて、新しい電子黒板機能付きプロジェクターを22教室に設置完了した。

(2) 令和4年度 学校教育自己診断 集計結果について説明（首席より）

- ◆ 令和2年・3年・4年の比較をしている。
- ◆ 生徒の回答において、自治活動について肯定的意見が増加している。
- ◆ 1人1台端末の活用について、生徒からの肯定的意見が低く、来年度の課題である。
- ◆ 保護者の回答数が前年度に比べて減少しており、回答依頼時期等の検討が必要である。
- ◆ 教職員の回答では「学年間の連携・協力が円滑に行われているか」との問いに対し、肯定的意見が低く改善が必要である。

〔委員からの質問・意見など〕

- web回答は無記名であるのか。
→ アドレスは分からないようにしている。
- オンラインで保護者も回答しやすい。昨年度は2～3回、保護者にメールで回答の依頼があったため、参加しやすかった。

(3) 令和4年度 学校経営計画及び学校評価(案)について説明(校長より)

- ◆ 教員相互の授業見学会、授業研究会(2回)を実施した結果、教員間で授業方法や評価のあり方等について検討する機会も増え、来年度の計画にも生かされている。
- ◆ ジェンダーレスの第三の制服(来年度入学生から導入決定)やセーター類のデザイン決定などで、自治会が軸となったことで「自治会活動が活発に行われている」との生徒回答は目標指標を大きく上回った。

[委員からの質問・意見など]

- 教職員間の連携について、どのように考えているのか。
 - 現在、教科ごとの職員室となっている。他校では学年ごとの職員室が大半であり、担任が休憩情報交換しやすくなっている。来年度はこの点について改善していきたい。

(4) 令和5年度 学校経営計画及び学校評価(案)について説明(校長より)

- ◆ 令和4年度と令和5年度の「府立学校に対する指示事項」の章立て(重点項目)の変更について説明。
- ◆ 「清水谷高校のミッション」及び「めざす学校像」について説明。
- ◆ 本校の国公立大学への進学者が増えていることを伝えていく。
- ◆ 来年度の学校説明会の時期を早め、春休み中にオープンキャンパスを実施する。中央区・天王寺区・東成区の中学生を対象(地域連携の一環として実施)とし、自治会執行部の生徒が主体となり開催する。本校生徒との座談会、清水谷ツアー(校内案内)、オーケストラ・アンサンブル部の演奏会(中庭)を企画している。通常の学校説明会も1学期から夏休みの時期に前倒して行う予定である。

[委員からの質問・意見など]

- 清水谷PTAによる大学見学会において訪問大学で大学生によるツアー(見学会)に参加した。生徒の声を聴けるのは良い企画だと思う。
- 清水谷ツアー(校内案内)に入学前、子供と参加して良い印象がある。
- 働き方改革の件で、府立の2校合同でクラブを実施すると聞いたが、清水谷はどうなるのか。
 - 本校はペアリングの対象になっていない。

(5) その他